

【教育目的】 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

- 【到達目標】
1. ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
 2. 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
 3. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

教科目	単元	教育内容	担当	時間	
1 ヘルスケアシステム論Ⅰ (規定15時間)	社会保障制度概論	1 社会保障制度の体系 2 社会保障の関連法規	佐山	6	15
	保健医療福祉サービスの提供体制	3 保健医療福祉制度の体系 3-1 地域包括ケアシステム 3-2 地域共生社会	安西	6	
	ヘルスケアサービスにおける看護の役割	4 看看連携 5 地域連携における看護職の役割 6 保健医療福祉関連職種を理解	藤野	3	
		7 看護の社会的責務と業務基準 7-1 看護関連法規 7-2 倫理綱領 7-3 看護業務基準			
2 組織管理論Ⅰ (規定15時間)	組織マネジメント概論	8 組織マネジメントに関する基礎知識 9 看護管理の基礎知識	堤	6 3	15
	看護実践における倫理	10 看護実践における倫理的課題 11 倫理的意思決定への支援	手島	6	
	労務管理の基礎知識	12 労働法規 13 就業規則 14 健康管理(メンタルヘルスを含む) 15 雇用形態 16 勤務体制 17 ワークライフバランス 18 ハラスメント防止	穴井	6	
3 人材管理Ⅰ (規定30時間)	看護チームのマネジメント	19 チームマネジメント 20 看護ケア提供方式 24 准看護師への指示と業務 25 看護補助者の活用 21 リーダーシップとメンバーシップ 22 コミュニケーション 23 ファシリテーション	谷川 吉田	6 6	30
	人材育成の基礎知識	26 成人学習の原理 27 役割理論 28 動機づけ理論 29 人材育成の方法	江藤	6 6	
	経営資源と管理の基礎知識	30 診療・介護報酬制度の理解 31 経営指標の理解 32 看護活動の経済的効果	角田	6	
4 資源管理Ⅰ (規定15時間)	看護実践における情報管理	33 医療・看護情報の種類と特徴 34 情報管理における倫理的課題(情報リテラシー)	宇都	9	15
	看護サービスの質管理	35 サービスの基本概念 36 看護サービスの質評価と改善 37 看護サービスの安全管理 38 看護サービスと記録	松田 宮下	6 9	
5 質管理Ⅰ (規定15時間)	追 論理的思考・問題解決思考・問題解決過程		木村	+9	24
6 統合演習Ⅰ (規定15時間)	演習	39 学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する。		15	15

105時間 演習上限21時間【統合演習15時間含む】

114

別枠:レポートの書き方(3時間)

向井 +3